



栃木銀行

First for You
あなたとともに

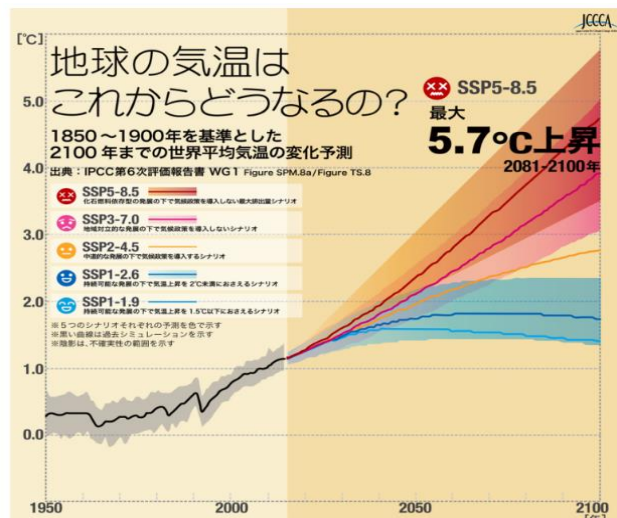
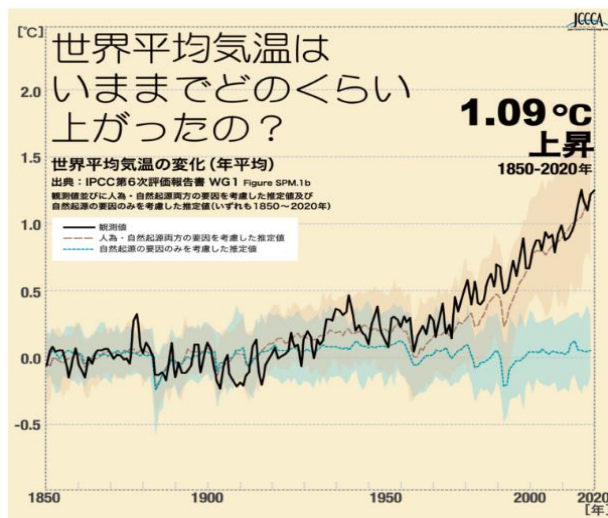
開会挨拶および 栃木銀行の取組紹介

上昇し続ける世界平均気温

・世界平均気温は工業化前と比べて2011年～2020年ので1.09℃上昇。

人間の影響が、豪雨、洪水、干ばつなど「複合的な極端現象」の発生確率を高めている。

・気温の将来予測について、21世紀半ばに実質CO2排出ゼロが実現する最善シナリオ（SSP1-1.9）においても2021年～2040年平均気温上昇は1.5℃に達する可能性がある。最大排出量のシナリオ（SSP5-8.5）においては、今世紀末までに3.3～5.7℃の上昇を予測。



（出所）全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
（原典）IPCC第6次評価報告書

気温上昇によるリスク

- ・高潮や沿岸部の洪水、海面上昇
- ・大都市部への内水氾濫
- ・極端な気象現象（大雨、嵐の巨大化）
- ・熱波、干ばつ

- ・健康障害、生計崩壊 ・インフラ機能停止
- ・死亡、疾病 ・水資源不足、農業生産減少
- ・食糧不足、食料安全保障問題
- ・生物多様性の損失

栃木銀行SDGs宣言

栃木銀行は、「豊かな地域社会づくりに貢献する」との経営理念に基づき、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、事業活動を通じて、地域社会の持続的な発展と課題解決に貢献してまいります。

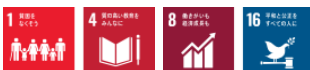
栃木銀行SDGs宣言による行動方針

1. 地域経済の持続的な成長



お客様のニーズに応じた金融仲介機能の発揮

2. 地域社会への貢献



地域社会の発展・活性化に向けた貢献

3. 地域環境保全



環境に配慮した事業活動による環境負荷軽減

4. 多様な人材の活躍



すべての従業員が生き生きと働きがいを持って活躍するための環境整備

サステナビリティ方針

栃木銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通じて、環境や社会課題を考慮した地域経済の好循環サイクルを追求し、地域社会と全てのステークホルダーの持続的な発展に貢献するとともに、当行グループの持続的な企業価値の向上を実現します。

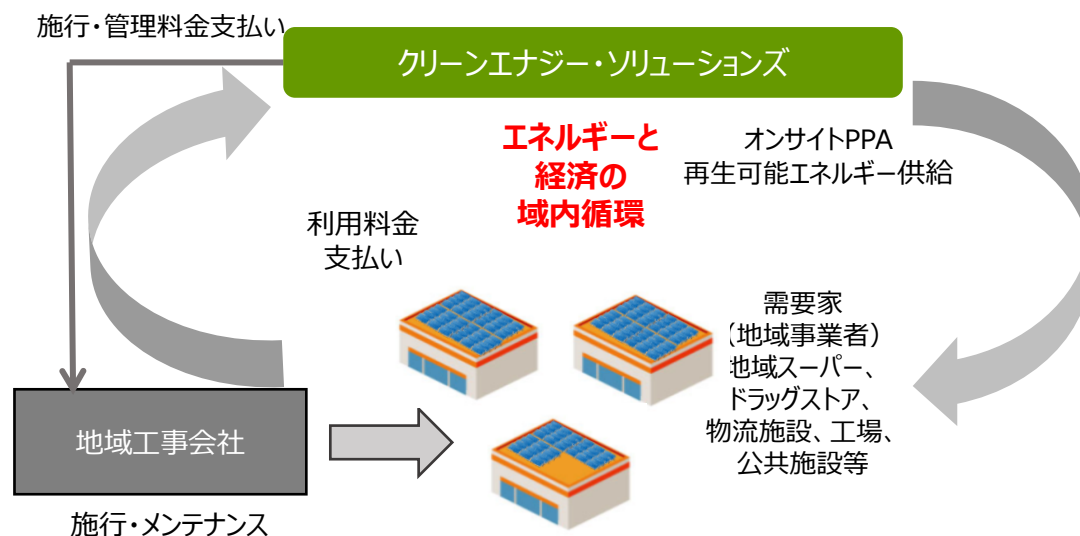
ローカルSDGsの実現



(株)グリーンエネルギー・ソリューションズ

再生可能エネルギーを供給する新会社（子会社）を設立。エネルギーと経済の域内循環を創るため、PPA（電力販売契約）事業を行います。

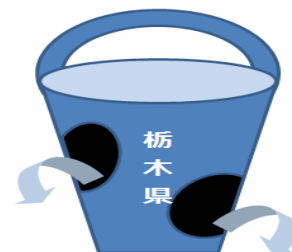
【設立日】2023年3月



【経営目標】

- 発電容量 50MW
- 年間CO削減 2万トン

【地産地消型のエネルギー 循環モデルの効果】



エネルギー購入による
域外資金流出
(漏れバケツの状態)



再生可能エネルギー
の地産地消による域
内循環と資金循環
(流出防止)
(漏れバケツの穴を少
なく小さくする)